

3-2

園芸クラブを試みて

クラブ導入の試み

園芸

クラブ導入

特別養護老人ホーム 第二青梅園

介護職員 佐藤 宏俊

本部長 原島 寛

東京都青梅市黒沢3丁目 1966番地 1

生活相談員 瀧嶋 公一

TEL : 0428-74-7331

E-mail : info@dai2-omeen.com

FAX : 0428-74-7335

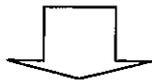
URL : http://www.dai2-omeen.com

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

第二青梅園は平成13年4月に開設し、入所者100名、ショートステイ5名の施設です。JR青梅線青梅駅下車、車で5分の場所に位置し、ツツジなどが咲き美しい緑に包まれた温かい施設です。

〈取り組んだ課題〉

- 利用者からの“庭いじり・草取りなど”園芸をやりたいという声があった。
- 利用者職員間のコミュニケーションを図る。
- 外気の導入、気分転換を図る。
- レクリエーション、リハビリの一環として導入。



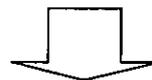
- 園芸クラブの実現。
 <活動方針：季節に沿った花（植物、野菜、ハーブ等）を露地、プランターに植え生育を楽しんで頂き、リハビリの一環としての活動を行う。>
 <目標：実際に植え込み作業を行い、花等を通じコミュニケーションを図る。>

〈具体的な取り組み〉

- 対象者・・・興味のある利用者3名
 （担当者1人に利用者3名）
- 時間・・・第四木曜日。午後2時半から1時間
 （施設スケジュールの関係上）
- 費用・・・予算2万円
- 活動内容・・・*楽しんで参加される為に、好みの花や思い出の花を多く使用した。
 *プランターへの植え込み作業など簡単な作業を多く取り入れた。
 *晴れた日は屋外で作業し、雨の日は屋内にて植え込みやクラフト、簡単な飾り物作りを行った。

〈活動の成果と評価〉

- 1,2月に行った“ペットボトルの容器を使った飾り物”作りで「私にもできるんだ。楽しめるんだ。」という声があり、3~5名から4~10名の参加に増加した。
- 作品に対する、自己評価を行う利用者が増えた。
- 「次は何をするの?」と、利用者からの声があり、参加意欲が見えるようになった。



~19年度より~

- 対象者・・・10名程。
- 時間・・・第二、四木曜日の月2回に変更。
 担当者が2名に変更。
- 施設行事に飾り付けなどで導入するようになった。

〈今後の課題〉

- クラブの継続。（年間スケジュールの見直し）
- 職員、ご家族の話題作り。
- ボランティアを導入し、コミュニケーションをより図る。
- 利用者に対し、精神面の安定や生きがい作りを図る。
- 施設職員、協力者の理解を図る。